



～ 職場実習から就労へ ～ 医療機関で活躍する卒業生たち！

特別支援学校生徒が病院で就労！



●市立奈良病院
奈良東養護学校卒 【看護補助】



●国保中央病院
高等養護学校卒 【看護補助】



●奈良県総合医療センター
高等養護、奈良東養護学校卒 【看護、薬剤部補助】



●奈良県西和医療センター
高等技術専門校卒 【薬剤・総務補助】

県立奈良東養護学校、高等養護学校、高等技術専門校の生徒たちは、職場実習を繰り返し行い、今春、病院の看護補助、薬剤補助、事務補助業務の就労へとつながりました。

病院の方々は、「生徒さんは、とても真面目で、素直でいろいろな可能性を秘めています」と、あたたかく見守りながら、長い時間をかけて育てていこうとされています。

患者さんに寄り添う医療関係者の真心を感じます。

創業300年を迎える株式会社三輪山本（桜井市、そうめん製造）においても高等養護学校生徒が2年前に引き続き、採用されました。

職場実習をとおして、生徒、事業所がお互いに気に入りに、就労へとつながっています。

特別支援学校生徒と事業所がつながり、就労が進むことを願っています。



●天理よろづ相談所病院
高等養護学校卒 【配送業務】

～ 職場実習から就労へ！ ～ 病院からのレポート

6月3日(土) ・奈良県社会福祉総合センター

◆市立奈良病院 副看護部長 富田和久氏



◆国保中央病院 看護部長 東岡美津子氏



- 2016年11月、初めて看護部で奈良東養護学校生徒を実習で受け入れました。私たち看護部の仕事はチームで行うので、「なかまを信じる」ことが大切です。「この人には何ができるのか、人として信頼できるのか」ということに尽きます。
- 初回の実習では、「何ができるのかではなく、信頼できる人かどうか」を見極めました。Aさんはとても緊張していましたが、実習中は決してあきらめることなく「一緒に働いていけるな。信頼できるな」と思いました。
- 2回目の実習では、一緒に働くなかまとして「課題を設定し克服できるか」をみるため、違う人や違う場所で同じような実習を計画しました。何でも「ハイ!」と返事するので、わからないことは『わかりません』と言えることが、信頼を得るためには必要なことであると伝えました。助手研修会に参加する機会があり、一番前で一生懸命に勉強していました。まじめで一生懸命取り組む姿は好感が持て、採用したいなあと思いました。
- 3回目は、就職も決まり職員同様の実習を実施しました。Aさんの業務内容を決定するための実習でした。
- 3回の実習ではそれぞれ目的に応じた実習内容を考え、次の3点に配慮して取り組みました。
 - ①本人を不安にさせず実習を楽しんでもらうこと。
 - ②必要な知識を獲得し、就職時の選択肢の一つとして捉えていただくこと。
 - ③感染管理ができて(エプロン、マスク等の使用方法)患者も自分自身もまもることができること。
- 今後も奈良東養護学校生徒の就職先の一つであるために、Aさんにはパイオニアとして、働く先輩としての役割があります。業務内容の拡大、評価に耐える質の獲得、主体性の醸成、コミュニケーション力の向上に期待します。そのためにも、もう少し笑顔があればと思います。
- 今回いただいた機会を大切にするためにも、看護部として
 - ①看護助手業務基準の完成
 - ②個々に応じたオリエンテーションの見直し
 - ③職員の能力開発としてクリニカルラダーの導入に取り組んでいきたいと考えています。

- 国保中央病院は、川西町、三宅町、田原本町、広陵町の4町による組合立の自治体病院です。平成27年、初めて高等養護学校生徒を看護部で受け入れ、これまで2回職場実習を行ってきました。
- 昨年、ならチャレンジド総会へ参加し、奈良県総合医療センター、万葉苑の方から採用へと至る講演を聞き、当院でも採用を進めていこうと思いました。早速、奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センターへ伺い、数年前から看護助手で採用されている実情を知りました。
- 平成29年4月採用をめざし、初回は、8月に5日間、16時まで洗濯業務の実習に取り組みました。2回目は17時までに延長し10日間。洗濯機、乾燥機の使用方法を覚えてくれました。3回目は、手術室の清掃を新たに取り組んでいただきましたが、一つのことに集中すると周りが見えなくなり、スピードも思うようにはかどりませんでした。「少し仕事を広げ過ぎたかなあ。あせらず、もっと、ゆっくり」と、私たちは反省し、4回目からは、洗濯業務をじっくりと実習してもらうことにしました。採用決定後も5回目の実習に取り組み、4月からスムーズにスタートしています。
- Bさんは、まじめでコツコツと取り組んでおり、とても明るく人なつこく、よくやってくれています。十分に慣れてきたら、病室等の新しい仕事も教えていきたいと考えています。未永く、当院で働いていただけることを願っています。
- この1年間の取り組みから以下のことを教訓にしています。
 - ①良い点を評価し、褒めることが大事
 - ②ゆっくり、あせらずに育て、長い目で見ること
 - ③育成側の体制も整えることが必要
 - ④指導者の人選も大事なポイント
 - ⑤指導者には事前に趣旨をよく分かってもらう
 - ⑥実習生の気持ちと指導者の気持ちをよく聞く
 - ⑦学校の先生との連絡を密にとること
- 「人を育成する」ということを改めて考える機会になり、新人を育てるのは看護師も看護助手も一緒であると改めて感じています。



- 卒業したら、すぐに働きたいと思っていました。3年生になり、市立奈良病院の実習で、仕事の内容が自分に合っていると思い、ぜひ、この病院で働きたいと思いました。
- 任された仕事をミスなくできたとき、やりがいを感じます。
- 初めてのお給料で、家族や祖母にプレゼントを買いました。新しい携帯を買うために貯金しています。
- 職場では自分でできることを増やしたいです。
- ぼくが仕事をできるようになったのは、職場の皆様が教えてくださったおかげです。本当にありがとうございます。
- 後輩たちは、就職ができるように頑張ってください。

- いとこのお母さんが病院関係の仕事をしていて、話を聞くなかで、あこがれの仕事でした。3年生の夏休み、洗濯業務の実習で、患者さんの役にたつ仕事だと思い、やっていけそうだと思います。
- 職場の方々からの言葉がけが、とてもうれしいです。
- 初めてのお給料は、貯金をしたり、服を買ったり、家にも少し生活費として渡しています。
- 今の仕事をちゃんと覚えて、新しい仕事もできるようになりたいです。
- ある先生から『ありがとう、まほうの言葉』と、聞きました。言った方も言われた方もいやな気持ちにならない、素晴らしい言葉です。後輩のみなさん、感謝の気持ちを忘れずしてほしいです。

◆参加者の感想

市立奈良病院、国保中央病院、ともに生徒を励ましの中で指導され、非常に嬉しく思います。

二人の卒業生も働くことで社会人として生き生きされ、しっかりされ頼もしいです。

これから、まだまだ、苦難もあるでしょうが、職場の先輩とともに乗り越え、自分の人生を楽しんで欲しいです。

インタビューは聞く方も当人達にとっても明日につながる事なので、続けてほしいです。

Aくん、Bさん、今日はお仕事についてお話しください、ありがとうございました。

高等養護学校3年生の母親です。12日から実習が決まっています。本人に合う仕事なのか、会社の方から必要とされる人材になれるのか、不安でいっぱいですが、お二人の頑張りを知り、一歩ずつ実習を重ねていくしかないなあ…と思いました。

言葉づかい、時間を守る、感謝の気持ちを表わす（ありがとう）、この3つを息子にしっかり伝えたいと思います。

障害のあるなしではなく、社会で自分の持てる力を発揮できる場があること、当たり前にも働ける、安心して働ける環境であること、本当に素晴らしい事だと思います。

自ら選ばれた職場で自信や誇りを持ち、まわりの方への感謝の気持ちも持ちながら働けていること、ステキだと思います。

頑張っておられる姿に力をいただきました。

子どもを受け入れる病院の気持ち、苦労した点、工夫された点がよく理解できました。とにかく、子どもを育てるという視点で一致していることが素晴らしいと思いました。

本日は弟の付き添いで参加させていただきました。私は今、県内の小学校で特別支援学級の担任をしています。目の前にいる子どもにどのように力をつけさせればよいのか、日々、手さぐりでやっていますが、今日の卒業生のお二人の話を聞き、とても希望がもてました。東岡さんがお話されていたように、ゆっくり、あせらず、ほめながら育てていければと思います。